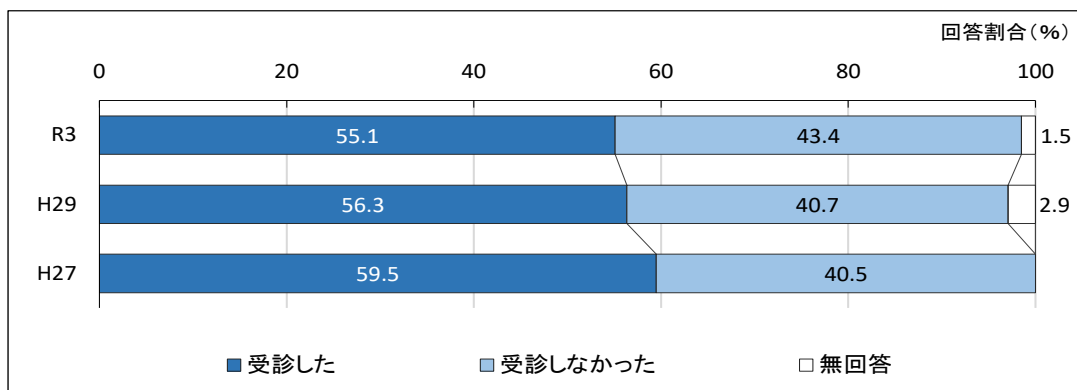


⑧ 健(検)診について

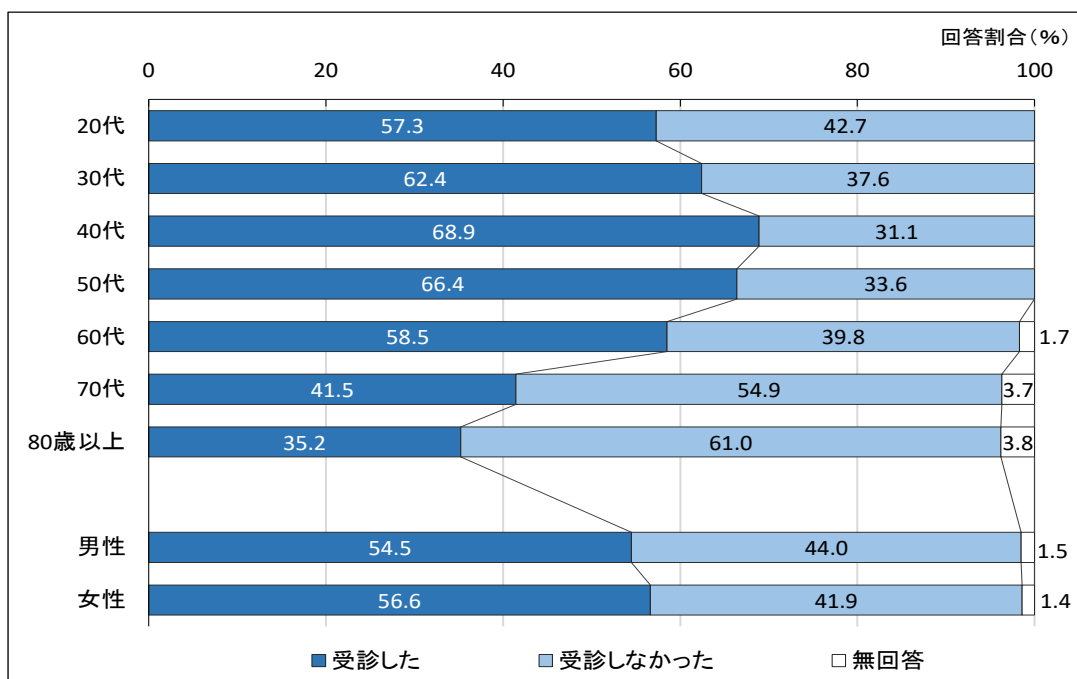
(35) 昨年度、健(検)診(特定健康診査・人間ドック・がん検診等)を受診しましたか。

「受診した」の割合が55.1%となり、「受診しなかった」(43.4%)を上回った。
過去調査と比べると、「受診した」の割合は半数以上を維持しているものの、低下傾向で推移している。



年代別にみると、60代までの各年代では「受診した」の割合が5割以上となり、「受診しなかった」を上回った。「受診した」の割合は、40代をの6割台ピークに、50代以降は年代が上がるにつれて低下している。

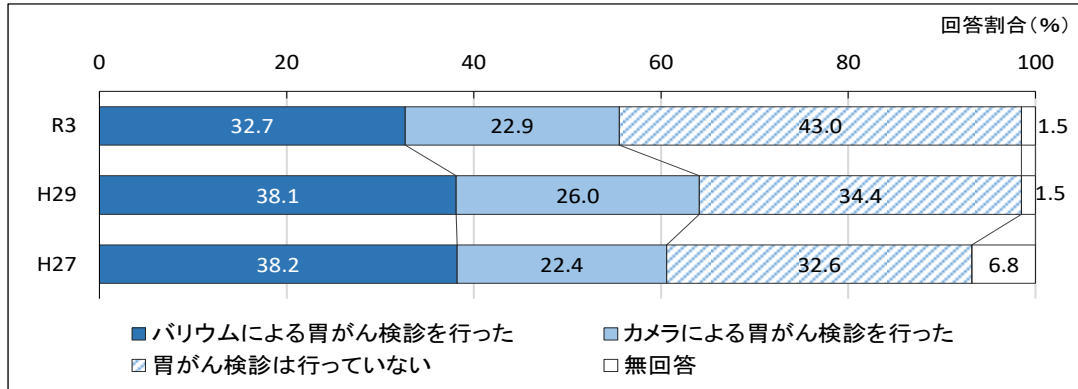
性別にみると、男女ともに「受診した」の割合が5割台となり、「受診しなかった」を上回った。



(36) (35)で「1. 受診した」とお答えになった方にお聞きします。健(検)診において、胃がん検診を行いましたか。

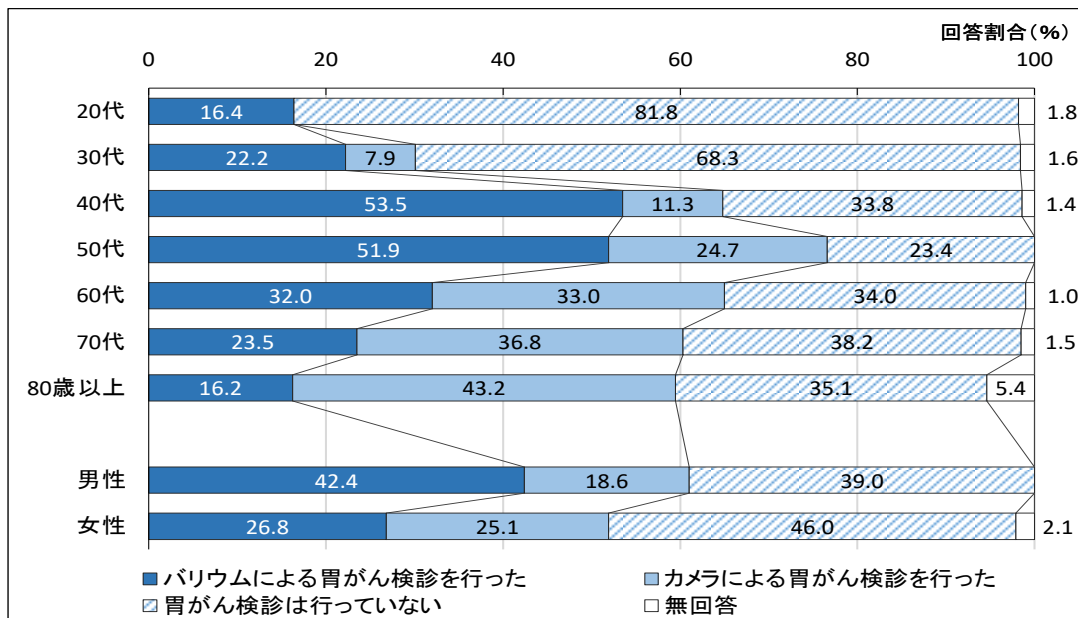
「バリウムによる胃がん検診を行った」の割合が32.7%、「カメラによる胃がん検診を行った」が22.9%となり、これらを合わせた『胃がん検診を行った』の割合は55.6%となった。一方、「胃がん検診は行っていない」は43.0%となった。

前回調査と比べると、『胃がん検診を行った』の割合は8.5ポイント低くなり、大きく低下した。



年代別にみると、40代と50代では「バリウムによる胃がん検診を行った」の割合が5割台でもっとも高く、80歳以上では「カメラによる胃がん検診を行った」の割合が4割台でもっとも高くなった。その他の年代では「胃がん検診は行っていない」の割合がもっとも高く、特に20代で8割代、30代で6割台と、高くなっている。

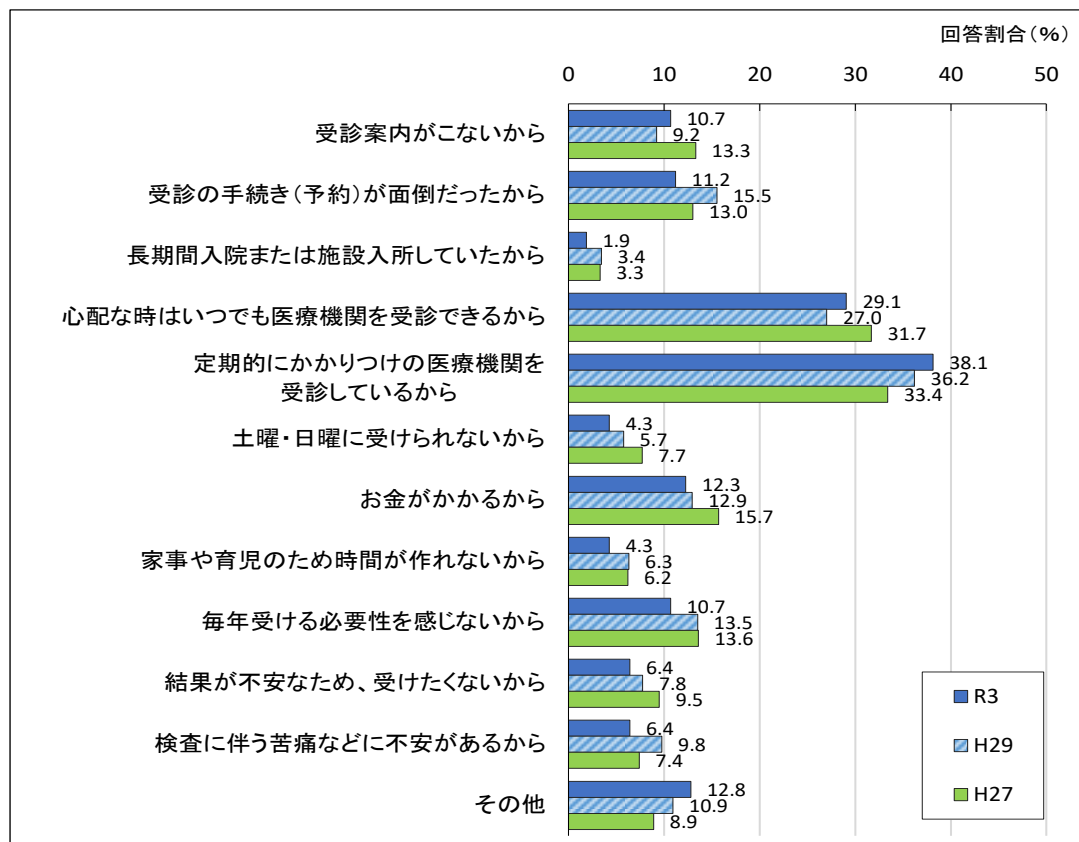
性別にみると、男性では「バリウムによる胃がん検診を行った」の割合が4割台でもっとも高くなった一方、女性では「胃がん検診は行っていない」の割合が4割台でもっとも高くなった。



(37) (35)で「2. 受診しなかった」とお答えになった方にお聞きします。健(検)診を受診しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

「定期的にかかりつけの医療機関を受診しているから」の割合が38.1%でもっとも高く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が29.1%で続き、この2項目が突出した高い割合となった。「いつでも受診できる」「定期的に医者にかかっている」という安心感が健(検)診を受診しない大きな要因となっているが、疾患リスクや症状のないうちにがんを発見する重要性について周知が必要と考えられる。

前回調査と比べると、上位2項目の割合はともに上昇した。



年代別にみると、50代以降の各年代では「定期的にかかりつけの医療機関を受診しているから」の割合がもっとも高く、20代と30代では「受診案内が来ないから」、40代では「その他」の割合がもっとも高くなった。

